くま経プレス

医療　身近な医療機関の動き

地域医療最前線

新病院に移転オープン 一貫したがん医療を提供

鶴田病院

医療法人社団 鶴友会　鶴田病院(熊本市東区保田窪本町、鶴田克明理事長・総院長)は、隣接する介護老人保健施設メディエイト鶴翔苑東側に6階建ての新病院を建築、7月17日に移転オープンしました。一貫したがん医療の提供や人工透析、リハビリテーションなどを特徴とする新病院の概要を紹介します。

▲介護老人保健施設メディエイト鶴翔苑東側に新築移転した鶴田病院

医療設備を一新、病院食を直営化

新病院は従来の診療科目に加え、緩和ケア内科・麻酔科をはじめ、がんの温熱療法、化学療法を導入し、一貫したがん医療を提供します。また、人工透析やリハビリテーションなどの設備を一新しました。さらに、病院食を直営化し新鮮で栄養価の高い食事を提供するなど、診療体制の充実を図っています。病棟編成においては、急性期・亜急性期病棟は50床と変わりませんが、回復期病棟を35床に増床するとともに、新たに緩和ケア病棟を20床新設しました。

▲前列左から尾畑憲司院長、鶴田克明理事長・総院長
後列左から鶴田豊診療部長、鶴田克家副院長

緩和ケア病棟を新設

新病院は、緩和ケア病棟の新設により、がんの診断から治療、さらには在宅支援まで、一貫したがん医療を提供することが可能となりました。

現在の緩和ケアは、がんと診断された時から始まると言われています。がんなどの病気に罹った患者様を対象に、痛みや不快な症状を和らげ、苦痛を全人的(身体的、精神的、社会的、スピリチュアル)なものとらえ、毎日をやすらかに過ごせるように全室個室をご用意しました。そして、専従の医師、緩和ケア認定看護師を含めた看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ、ソーシャルワーカーなどの専門スタッフがチームを組み、患者様のみならず、ご家族に対しても24時間継続した援助を行います。

▲緩和ケア病棟の食堂デイルーム

注目されるがんの温熱療法

治療面では、がんの温熱療法室や化学療法室を新設しました。

がん温熱療法(ハイパーサーミア)は、腫瘍の局所を40～60分間42～43℃以上に加温する治療法です。放射線や化学療法の効果を高めることが期待され、また、この温熱療法自体にも抗腫瘍効果があります。但し温熱療法だけで、がんが根治できるのは困難と考えられており、放射線治療や化学療法との併用によって、放射線や抗がん剤の効果を高めたり、体を温めることで免疫力が高まる効果が期待されています。新病院では温熱療法室の隣に外来化学療法室を併設し、化学療法と温熱療法を組み合わせることによって、さらに治療効果を高めています。

▲がん温熱療法(ハイパーサーミア)を担当するスタッフ

当院では、すでに大学病院等のがん拠点病院との連携が出来上がりつつあり、熊本のがん治療の新しい流れになることを期待しています。

重要ながん患者のリハビリ

がん治療において、その重要性が高まっているのが、がん患者のリハビリです。がんの5年生存率が向上し、「がんと共存する時代」になった現在、終末期の患者様をはじめ、早期から終末期まで、適切なリハビリを行うことで疼痛緩和や症状の改善にも効果が見られ、回復力を高め、QOL(生活の質)の向上が期待できます。

がんのリハビリには、がん医療全般の知識だけでなく、運動麻痺、摂食・嚥下(えんげ)障害、浮腫(むくみ)、呼吸障害、骨折、精神心理などの障害に対する専門的な知識や技術が必要です。当院では、鶴田豊診療部長を中心に、看護師や理学療法士、言語聴覚療法士ら4人が専門研修を受け、患者様の状態に合わせたリハビリを行っています。

内視鏡検査・手術の専門病院

当院は、1973(昭和48)年の開業以来、外科胃腸科専門病院として数多くの手術を手掛けてきました。現在では内視鏡センターを開設し、早期がんの発見に取り組む一方、腹腔鏡手術をはじめ、泌尿器科でも排尿障害と膀胱腫瘍の治療において、内視鏡を尿道から入れて行う経尿道的手術に取り組んでおり、内視鏡による検査と手術の専門病院として良・悪性疾患の治療に努めています。

鶴田克家副院長が担当する内視鏡センターは、富士フィルムの「Advanc-ia」という内視鏡システムを採用し、分光画像処理機能「FICE」と呼ばれる特殊な画像処理を用いた観察が可能です。拡大内視鏡と併用することで、さらに正確な診断に近づくことができます。また、治療内視鏡にも積極的に取り組んでおり、大腸の腺腫性ポリープの切除術「EMR(内視鏡的粘膜切除術)」はもちろん、早期胃がんの「ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)」も症例に応じて行っています。

消化器外科では鶴田豊診療部長、山口祐二外科部長は数多くの鼠径ヘルニア修復術や胆のう摘出手術などを手掛けてきた腹腔鏡手術のスペシャリストです。さらに、泌尿器科分野では、ストルツ社製のバイポーラーTURシステムを導入し、川畑泌尿器科部長が膀胱腫瘍や前立腺肥大症に対して、きわめて少ない出血で経尿道的手術を施行しています。

合併症の少ない安全な透析治療

一方、人工透析センターは、新病院への移転開院にあたり、ニプロ社製全自動透析装置を14台導入しました。新規透析液清浄化システムを導入し、日本透析医学会と日本臨床工学技士会が推奨している透析液清浄化ガイドラインVer2・0を満たすことで、患者様にクリーンな透析液で治療を受けていただき、合併症の少ない安心、安全な透析治療を提供しています。

また、治療を受けられる環境も改善し、低床用電動透析用ベッド、小型液晶テレビを採用、別室にはラウンジ及び食事が摂れる部屋を設置して、より心地良い環境で治療ができるようにしています。

医療法人社団 鶴友会　鶴田病院

＜診療科目＞
内科、消化器内科、内視鏡内科、循環器内科、神経内科、呼吸器内科、外科、消化器外科、内視鏡外科、肛門外科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科(人工透析)、緩和ケア内科、麻酔科、放射線

＜診療受付時間＞
月曜日～金曜日／ 8:40～12:00
／13:50～17:30
土　曜　日／ 8:40～12:00
日　曜・祝　日／休　診

＜病床数＞
総病床数　105床
急性期・亜急性期病棟……50床
回復期リハビリテーション病棟‥35床
緩和ケア病棟(新設)……20床

〒862-0925 熊本市東区保田窪本町10-112
TEL096-382-0500　FAX096-382-0592
http://www.kakuyuukai.or.jp

急増する女性の大腸がんの早期発見を目指して

毎週金曜日に女性専用の人間ドック

服部胃腸科

急増する女性の大腸がんの早期発見を目的に、内視鏡専門施設の服部胃腸科(熊本市中央区新町2丁目、後藤英世院長)は、定期的な大腸検査の受診促進を目指した取り組みを強化しています。同院に女性専用の人間ドックについて説明してもらいました。

発見が早いと内視鏡で治療ができる

大腸がんは、一般的におとなしいがんだと言われ、早期の段階で発見できれば、内視鏡での治療で完治します。また、外科手術になった場合も、切除後の5年生存率は80％以上と比較的死亡率が低い病気です。

しかし、この大腸がんで命を落とす女性が後を絶たないのは何故でしょうか。その背景には、かなり進行しないと自覚症状が出ないこと。また、血便・下痢・便通異常など多少の症状があっても、検査は辛いし、恥ずかしいから嫌だと放置し、早期発見のチャンスを逸してしまうことなどが挙げられます。そのほか痔をお持ちの方は、いつもの痔だと思い込んでしまい、発見が遅れることもあります。さらには、主婦の方などは、男性のように勤務先の定期健診や人間ドックなどの受診機会が少なく、がんの早期発見が遅れてしまうケースもあり、発見が遅れれば遅れるほど、肺や肝臓、リンパ節などに転移し、治療は困難になっていきます。

女性の専門医による内視鏡検査

大腸がんの早期発見には、定期的な内視鏡検査が不可欠です。当院では、こうした背景から、女性の定期的な大腸検査の受診促進を目指した取り組みを強化しています。

そのひとつが女性専門医による内視鏡検査です。予約を行えば毎日、女性専門医による内視鏡検査、診察が受けられます。健診・ドックにおいては毎週金曜日をレディースデイとし、独立した専用の5階健康管理センターで医師、看護師、受付事務など全て女性スタッフで対応する女性専用の人間ドックを実施しています。

この取り組みは平成22年度から実施しており、実際に人間ドック、健診で大腸内視鏡検査を受診された女性の方は、初年度が2009例、23年度が3206例、24年度も前年比で二桁増で推移しており、確実に大腸検査の重要性が認知されてきました。

▲5階ドックフロアでレディースデイを担当する後藤佐代子医師(日本消化器内視鏡学会認定専門医、日本内科学会認定専門医)

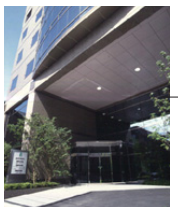
大腸がんは早期に発見できれば完治できるがんです。女性の専門医が検査をしますので、分からないことや不安に思っておられることも気軽にご相談いただけるのではないでしょうか。内視鏡検査は麻酔を使用し、眠った状態で楽に受けることができます。また、大腸検査後のお腹の張りを改善するため、大腸内視鏡検査全例に吸収の良い二酸化炭酸ガスを導入するなど、苦痛の少ない検査を心掛けていますので、初めての方でも安心です。

忙しい方のために、土曜・第3日曜もあいています

当院の人間ドック・健康診断は、平日のみならず、土曜日、第2、第3日曜も受けることができます。社会人の方は休日を利用し、ゆっくりと健診センターで検査を受けられてはいかがでしょうか。ご自身の健康と大切な家族のために、年に1回は定期的な内視鏡検査をお勧めします。なお、ホームページで予約状況が確認できますのでご利用ください。

▲人間ドックを実施する5階健康管理センターの受付

▲レディースデイを担当する女性スタッフ



医療法人　社団　魁正会
服部胃腸科
〒860-0004 熊本市中央区新町2-12-35 ☎096-325-2300
人間ドック お申し込み・お問い合せ 0120-79-1800
FAX096-325-8845　http://hattori-clinic.com
全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診認定医療機関